

## 大切な命を守るために

白山市立北陽小学校 堀 昂琉

ぼくは、駅が近くて車通りが多い地域に住んでいます。朝や夕方の通勤通学の時間帯は特に交通量が多いので、交通事故の危険がたくさんひそんでいます。僕も実際にヒヤリとした体験があります。

それは、ぼくの家近くに背が高く歩道にまではみ出している木が原因でした。友達と下校しているときに、その背の高い木で車がかくれてしまっていて、車に気付かずに渡ろうとしてしまいました。車からも自分のことは見えていなかったのかもしれませんが。もう少しで車とぶつかってしまうところで、友達に止めてもらえました。普段なら左右を確認してわたっていますが、その時は「見えない」ということを特に意識せずに渡ろうとしてしまったのです。

この先同じような場面に出合わないようには3つのことを意識していこうと思います。

1つ目は、「1度止まる」ということです。どれだけ見通しのよい道路であっても、そのまま飛び出すのではなく、1度止まり、左右をしっかりと確認することを意識したいです。

2つ目は、「車が来ないか確認する」ということです。信号が青になったから大丈夫、車が止まってくれる、と思ってしまうのではなく、青になっても左右を見て安全を確認し、運転手に横断する意志があることを伝えることを徹底していきたいです。

3つ目は、「いつも、かもしれないと考えていく」ということです。あの角から車が出てくるかもしれない、急にスピードを出してくるかもしれない、など、常に「かもしれない」を考えておくことが大切だと思います。

交通事故は、起こってしまうこともあります。それでも、事故を少しでも減らすには、車側だけでなく、歩行者1人1人の意識が大切だと思います。日頃から「1度止まる」「車が来ないか確認する」「かもしれないと考えておく」ことを頭に入れて、「ここなら大丈夫」と「過信することなく、車がくるかもしれないと考えながら、自分のたった一つのかげがえのない命を守れるように生活していきたいです。